澤田ホールディングス

平成25年3月期 第3四半期

決算説明資料

本資料は、当社の平成25年3月期第3四半期決算の業績概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

会社概要

澤田ホールディングス

商号	・澤田ホールディングス株式会社　Sawada Holdings Co.,Ltd.
代表者	・代表取締役社長　澤田　秀雄
所在地	・東京都 新宿区 西新宿 6-8-1 住友不動産新宿オークタワー27F
設立	・昭和33年1月21日
資本金	・12,223,312,500円
従業員	・4名(単体)、 6,292名(グループ)
グループ会社数	・連結子会社　7社　　・持分法適用関連会社　5社
発行済株式総数	・40,953,500株
時価総額	・21,582,494,500円

平成24年12月末時点

グループ会社展開

澤田ホールディングス

連結子会社：7社　持分法適用関連会社：5社

＜ 主要関係会社 ＞　● 連結子会社　▲ 持分法適用関連会社　平成24年12月末時点　※1

	社名	議決権比率
銀行業務	● ハーン銀行 （KHAN BANK LLC.）	52.16%
証券業務	● エイチ・エス証券（株）	100.00%
損害保険業務	▲ エイチ・エス損害保険（株）	49.63%
債権管理回収業務	● エイチ・エス債権回収（株）	100.00%
商品先物取引業務 ※2	● エイチ・エス・フューチャーズ（株）	100.00%
外国為替取引業務	▲ （株）外為どっとコム	37.81%
VC業務	▲ エイチ・エス・アシスト（株）	37.59%
少額短期保険業務	▲ エイチ・エスライフ少額短期保険（株）	35.60%
再生ビジネス	▲ 九州産業交通ホールディングス（株）	33.40%
	● （株）アスコット	42.34%

※1　ハーン銀行（Khan Bank LLC.）は、平成24年9月末（当第3四半期末）時点の数値を表示しております。
※2　エイチ・エス・フューチャーズ（株）は、平成24年9月11日付で商品先物取引業を廃業しております。
※3　当社は、平成24年12月にソリッド銀行（Solid Bank Closed Joint-Stock Company）の株式を取得いたしました。
ソリッド銀行の業績等は平成25年3月期第4四半期より当社の持分法適用関連会社となり、業績等は当社の連結業績において持分法による投資損益に反映されます。
なお、当社では持分法適用会社のうち、決算日が連結決算日と異なる会社については、各社の事業年度に係る財務諸表を使用しております。ソリッド銀行は12月決算であり、当社の株式取得は平成24年12月であることから、当第3四半期連結累計期間の連結業績には反映しておりません。

業績概要

澤田ホールディングス

グループ連結

（単位 ： 百万円）

	24年3月期 第3四半期	25年3月期 第3四半期	前年同期比
営業収益	20,256	21,404	105.7%
純営業収益	10,807	10,302	95.3%
営業利益	3,439	2,887	83.9%
経常利益	4,346	3,276	75.4%
当期純利益	1,179	1,565	132.7%

（単位 ： 百万円）

	24年3月期 第3四半期	25年3月期 第3四半期	前年同期比
総資産	163,598	180,569	110.4%
純資産	29,688	32,444	109.3%
現預金	28,731	32,854	114.4%

業績概要

澤田ホールディングス

事業別連結

平成25年3月期第3四半期 （平成24年4月1日～平成24年12月31日）

（単位：百万円）

	銀行関連事業	証券関連事業	債権管理回収関連事業	不動産関連事業	商品先物関連事業	その他事業	連結 ※
営業収益	13,237	1,836	1,344	4,866	91	70	21,404
営業費用	9,616	2,092	1,185	5,141	409	160	18,517
営業利益	3,621	△ 256	159	△ 274	△ 317	△ 89	2,887
経常利益	3,621	△ 226	135	△ 428	△ 55	417	3,276

平成24年3月期第3四半期 （平成23年4月1日～平成23年12月31日）

（単位：百万円）

	銀行関連事業	証券関連事業	債権管理回収関連事業	不動産関連事業	商品先物関連事業	その他事業	連結 ※
営業収益	11,729	1,956	953	5,338	252	116	20,256
営業費用	7,960	2,246	930	4,963	598	228	16,816
営業利益	3,769	△ 289	23	374	△ 345	△ 112	3,439
経常利益	3,769	△ 239	11	210	△ 90	276	4,346

※上表の「連結」は、内部取引を控除後の数値を表示しています。

営業収益の構成

澤田ホールディングス

事業別営業収益　（外部顧客に対する営業収益）

（単位：百万円）

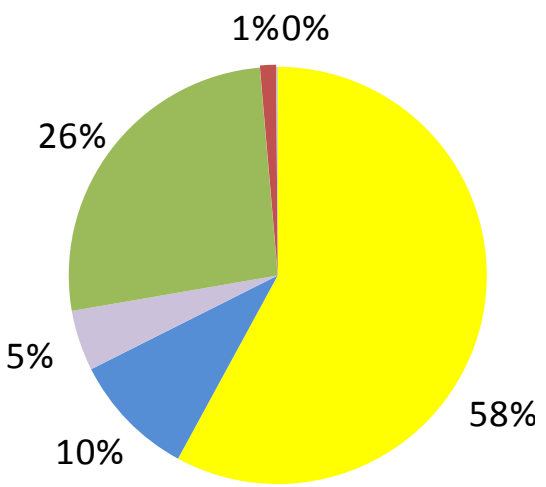
	平成24年3月期 第3四半期	平成25年3月期 第3四半期
銀行関連事業	11,729	13,237
証券関連事業	1,956	1,835
債権管理回収関連事業	953	1,344
不動産関連事業	5,338	4,866
商品先物関連事業	252	91
その他事業	25	27
合計	20,256	21,404

平成24年3月期第3四半期

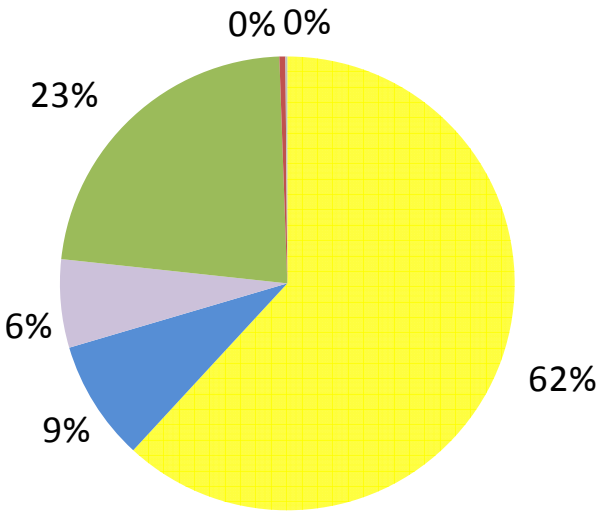
20,256百万円

平成25年3月期第3四半期

21,404百万円



銀行関連事業
証券関連事業
債権管理回収関連事業
不動産関連事業
商品先物関連事業
その他事業



ハーン銀行（KHAN BANK LLC.）

澤田ホールディングス

商　号	ハーン銀行(Khan Bank LLC.)
所在地	モンゴル国ウランバートル市
資本金	13,198百万MNT（MNT:トゥグルグ）
議決権の所有割合	52.16%
主要な事業の内容	銀行業

（単位:百万円）
（平成24年9月末レート　1円＝17.98MNT）
（平成24年12月期平均レート[9月末時点] 1円＝17.12MNT）

	23年12月期 第3四半期 (1～9月累計)	24年12月期 第3四半期 (1～9月累計)	前年同期比
営業収益	11,729	13,237	112.9%
営業利益	3,769	3,621	96.1%
経常利益	3,769	3,621	96.1%
当期純利益	2,874	2,759	96.0%
総資産	115,894	135,415	116.8%

概　況

■2012年は、翌年より生産開始が予定されている世界規模の金・銅鉱山の設備投資が最終段階にあります。また2012年6月末には総選挙があり、民主党の連立政権が誕生しました。第3四半期の経済成長率は第2四半期と比較すると、対前年同期比で落ち着いてきており、景気の過熱感がさらに和らいでいます。

■インフレは高止まりしており、中央銀行の金融引締めにより、モンゴル国内の流動性が逼迫しています。成長速度は鈍化してきたものの、ハーン銀行の預金・融資の残高はともに増加基調にあります。モンゴル最大の銀行として、今後も適切なリスク管理を行いつつ、業量・収益の拡大を目指してまいります。

（2012年9月末現在）
預金総額　99,567百万円　　融資総額　93,903百万円
※ 預金総額及び融資総額は円換算しております。

エイチ・エス証券（株）

澤田ホールディングス

商　号	エイチ・エス証券株式会社
所在地	東京都新宿区
資本金	3,000百万円
議決権の所有割合	100.00％
主要な事業の内容	第一種金融商品取引業

（単位：百万円）

	24年3月期 第3四半期 (4～12月累計)	25年3月期 第3四半期 (4～12月累計)	前年同期比
営業収益	1,956	1,836	93.8％
営業利益	△285	△253	－
経常利益	△235	△223	－
当期純利益	△414	△61	－
総資産	20,879	22,718	108.8％

概　況

■外国通貨建社債や世界各国国債を販売
・トルコリラ建、ブラジルレアル建、ロシアルーブル建社債を中心に、ブラジル、イタリア、スペイン等の国債も販売

■投資信託販売の強化
・エマージング・ソブリン・オープンを中心に新興国公社債オープン、アジア・オセアニア好配当成長株オープン等を販売

■外国株式取引の強化
・米国株式の店頭取引を開始

■『スマ株』・『モバ株』（モバイル取引ツール）バージョンアップ
・『スマ株』取引No．1を目指し、認知度・サービスの向上に努める

■IPO（新規公開株）業務
・5年10カ月振りの主幹事獲得　㈱グランディーズ
・8社の幹事入り　㈱ユニバーサル園芸社、日本エマージェンシーアシスタンス㈱、㈱大泉製作所、㈱アクトコール、日本航空㈱、㈱メディアフラッグ 、㈱エストラスト、㈱enish

■公開買付け（TOB）
・九州産業交通ホールディングス㈱の公開買付け代理人を務める

エイチ・エス損害保険（株）

澤田ホールディングス

商　号	エイチ・エス損害保険株式会社
所在地	東京都新宿区
資本金	1,612百万円
議決権の所有割合	49.63%
主要な事業の内容	損害保険業

（単位：百万円）

	24年3月期 第3四半期 (4～月12累計)	25年3月期 第3四半期 (4～12月累計)	前年同期比
経常収益	2,104	2,373	112.8%
経常利益	220	593	268.5%
当期純利益	217	449	206.5%
総資産	2,427	2,984	122.9%

概　況

■平成24年5月1日　海外旅行保険(「スマートネッと」を除く)の商品改定を実施し、販売を開始

■平成24年12月末（既往1年）「スマートネッと」の契約件数が 13万2千件を突破（同年8月 保険料改定）

・平成25年3月期12月末　契約件数(累計)　510千件

・平成25年3月期12月末　収入保険料(累計)　3,564百万円

（注1）経常収益は保険引受収益、資産運用収益およびその他経常収益の合計額
（注2）経常利益は経常収益から経常費用(保険引受費用、資産運用費用、営業費及び一般管理費、その他経常費用)を差し引いた金額

エイチ・エス債権回収（株）

澤田ホールディングス

商　号	エイチ・エス債権回収株式会社
所在地	東京都中央区
資本金	500百万円
議決権の所有割合	100.00%
主要な事業の内容	債権管理回収業 （法務大臣許可第110号）
その他の許可事業	コンサルティング業務・集金代行業務

（単位：百万円）

	24年3月期 第3四半期 (4～12月累計)	25年3月期 第3四半期 (4～12月累計)	前年同期比
売上高	944	1,344	142.4%
営業利益	15	159	1,050.6%
経常利益	2	135	4,598.0%
当期純利益	2	93	4,613.7%

取扱債権額	平成24年12月末日管理回収取扱債権額 499,460百万円 内 受託債権額 228,303百万円

概　況

■サービサー業界では、前期、上半期と同様に、未だ金融円滑化法の影響下にある金融機関の不良債権は減少傾向にあり、バルクセールは低調に推移しています。入札価格は一部サービサーの高値買い引きずられて、依然高止まりの状況にあります。

■しかしながら当社では、計画どおり新規取引先の純増が図られ、より多くのバルクセールに参加するとともに、個別の相談案件も増えており、収益性の高い案件に的を絞って買取することが可能です。

■回収面では、回収受託業務や集金代行業務などの受託報酬で安定的な収益を確保し、買取債権やコンサルティング報酬により、収益の上積みを図っております。

《管理回収部門実績（平成24年4～12月累計）》

債権譲渡額を除いた買取債権の回収	4億49百万円	（前年同期比　89.7%）
回収受託手数料（集金代行含む）	6億28百万円	（前年同期比 282.2%）

（株）外為どっとコム

澤田ホールディングス

商　号	株式会社外為どっとコム
所在地	東京都港区
資本金	778百万円
議決権の所有割合	37.81%
主要な事業の内容	第一種金融商品取引業

（単位：百万円）

	23年3月期	24年3月期	前年同期比
営業収益	8,180	5,528	67.6%
営業利益	83	1,286	1,539.2%
経常利益	250	1,516	604.8%
当期純利益	△ 661	496	－
総資産	113,141	121,918	107.8%

概　況

■店頭FX新サービス『外貨ネクストネオ』リリース準備（平成25年1月17日付リリース）

昨今のFX取引スタイルの主流である短期トレード対応を前提とした、高速約定処理システム

〔特徴〕・軽快な動作の取引アプリ
・可能な限り簡便化した発注操作
・あらゆる取引シナリオに対応しうる豊富な注文方法

■「外為どっとコム公式Facebookページ」開設（平成24年11月5日付）

「いいね！」ボタンクリックでセミナー情報、識者インタビュー等の様々な情報をお知らせ

口座数　：　355,748件　（平成24年12月）
預り保証金総額　：　108,102百万円　（平成24年12月）

九州産業交通ホールディングス（株）

澤田ホールディングス

商　号	九州産業交通ホールディングス株式会社
所在地	熊本県熊本市
資本金	1,065百万円
議決権の所有割合	33.40%
主要な事業の内容	バス事業、旅行・観光事業 不動産事業

（単位：百万円）

＜グループ連結＞	24年9月期 第1四半期 (10～12月累計)	25年9月期 第1四半期 (10～12月累計)	前年同期比
売上高	6,758	6,619	97.9%
営業利益	498	520	104.4%
経常利益	502	556	110.6%
当期純利益	723	394	54.6%
総資産	32,455	32,752	100.9%

概　況

■バスグループ

【バ　ス】熊本～鹿児島間高速バス「きりしま号」2往復増便（H24.4～）、熊本～北九州間高速バス「ぎんなん号」週末1往復増便（H24.4～）
熊本～京都間高速バス格安便「あそくま号」増設（ツアーバス対策等、H24.8～　）、それぞれ輸送人員も前年を上回り好調に推移。
九州新幹線と接続、新八代駅～宮崎間高速バス「B＆Sみやざき」好調に推移。
益城パーク＆ライド駐車場拡張（H24.11.1）に伴う高速各路線輸送人員増。

■ツーリズム

【旅　行】さまざまなイベントが開催されたハウステンボスの「バスツアー」好評。その他バス旅行商品も好調に推移。
※平成24年9月期の第1四半期は、ねんりんピックの開催により売上高増加。（約226百万円：旅行事業及び貸切バス事業等）
【索　道】阿蘇山ロープウェー、前年度、東日本震災の影響を受け業績低迷したものの、海外・国内利用客共に回復基調となり好調に推移。
（海外：前年比　186.7%、前々年比　64.3%、国内：前年比　112.8%、前々年比　71.0%　）
【航　空】熊本空港ANAラウンジ業務新規受託及び国際線チャーターの取込み等により好調に推移。

■ランドマーク

【飲食・物販】本格ピッツァ・レストラン『SALVATORE CUOMO ＆ BAR』熊本下通り店が好調に推移。宝くじ販売店舗好調に推移。
宮原サービスエリア上り店リニューアルオープン（H24.11.23）。新規オープン熊本空港ゲート内売店「セカンドりんどう店」等好調に推移。

■熊本フェリー

【運行受託事業】調査観測兼清掃船『海煌』平成24年4月6日就航。熊本～島原間高速フェリー「オーシャンアロー」好調に推移。

（注）　㈱H・I・S連結子会社化による決算期の変更に伴い、平成25年3月期（平成24年4月～平成25年3月）が半期で終了しております。
（注）　前年度当期純利益は、税制改正に伴う土地再評価に係る税効果実効税率の変更により506百万円増加しております。

（株）アスコット

澤田ホールディングス

商　号	株式会社アスコット （JASDAQｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　証券ｺｰﾄﾞ：3264）
所在地	東京都新宿区
資本金	1,434百万円
議決権の所有割合	42.33％
主要な事業の内容	不動産業

（単位：百万円）

＜連結＞	24年9月期 第1四半期 （10～12月）	25年9月期 第1四半期 （10～12月）	前年同期比
売上高	1,712	3,774	220.4％
営業利益	△ 9	122	－
経常利益	△ 62	79	－
当期純利益	△ 63	80	－
総資産	8,672	5,504	63.5％

概　況

■分譲マンション開発事業は、隣接する複数の所有者の土地をそれぞれ取得し規模を拡大した上で、分譲マンション開発用地として、共同開発先である不動産開発会社等に2物件の売却をしております。

■分譲マンション開発の進捗は、共同事業を含め3物件の開発を推進しており、そのうち「アスコットパーク日本橋人形町アトリエ」「アスコットパーク両国亀沢」の2物件は平成25年9月期の竣工引渡を予定しております。

■不動産ソリューション事業は札幌地区のソリューション1物件、福岡地区の収益不動産開発1物件の売却を行い、資産及び有利子負債の圧縮と中期経営計画の最重要項目である「地方都市で展開する不動産流動化物件の売却」を推進いたしました。また、オフィスビル「AUSPICE浅草花川戸」の竣工を予定しております。

（注）㈱アスコットは、9月30日決算です。なお、澤田ホールディングス㈱の連結決算に組み込む数値は、仮決算により算出した数値を用いております。